

JR大阪駅 時空の広場

フラワーアートミュージアム2017展示

フラワーファクトリ科 園芸デザイン部

3年 酒巻 盛田 安齋 中尾

2年 江田 石原 1年 藤井 谷口



はじめに

私たち園芸デザイン部は、2014年からJR大阪駅の複合施設大阪ステーションシティにて行われるフラワーアートミュージアムに協賛出展している。今年度は昨年度同様、展示区画を頂いた。展示区画が縦長になったため、デザインの変更が余儀なくされた。

活動内容

出展展示が決まってから、使用する植物の播種と、栄養繁殖の株分けを少量多品種で行い苗を育成した。前年度のフラワーアートミュージアムの展示の経験と今までの反省点を活かした苗づくりをした。例えば、出荷苗の数の不足対応・こまめな手入れ・面白みのある色彩などである。これらを心がけて活動を始めた。

デザインは展示期間がハロウィンに近いということもあり、明るい色と、商業施設のイメージカラーを花壇で表現しようという試みから「レピテーション」「暖色」「シミラリティ」を構成技法に盛り込むことにして、色を考えた。使用植物は左記表参照。

デザインは全体的なデザインで今年度もトレイごとの配色やデザインは行わなかった。

また、商業施設での展示ということで、土の配合や風による飛散防止なども考えて、苗づくりを行った。

展示

いざ、出荷の日になると夏の暑い日に汗をかきながらの管理作業を思い返し、今までの苦労や頑張りの思い出をかみしめた。

展示見学に行き、私たちの作品が大阪の玄関口に飾られているのを見て、周りの企業作品と違って少量多品種で色を沢山使ったので、見に来ている人からの評判も良かった。



結果・感想



結果→植物が予定通り配置できデザインもまとまった。区画は企業の作品と比べると長ぼそく小さかったが、色の配色はよく、納品を手伝ってくれた業者様からもおほめの言葉を頂いた。予備の植物も出荷し、開催期間中、作品として維持できた。

感想→1年生は初めての外での展示で何もかもが初めてで最初は何をしたらいいのかも分からずに作業をおこなっていたが、徐々に植物の名前や作業内容を覚えてきていた。2・3年はフラワーアートミュージアムの参加が2回、3回目ということで、昨年の反省点を活かしながらの作業を行った。昨年度とは違うデザインに挑戦でき、色合いも鮮やかで新鮮な気持ちで管理もすることができた。



植物の品種名	色
鑑賞用トウガラシ (ウチュウクリーム)	白色
ケイトウ (チャイナタウン・ニュールック・アイスクリームバナナ)	赤色・黄色
ストロビランサス (パープルプリンス)	銀葉 (紫色)
コスモス (コスミックイエロー・レッド・オレンジ)	黄色・赤色・オレンジ色
コリウス (ブラックドラゴン)	黒色
スイスチャード (ブライトライト)	緑色
ニチニチソウ	赤色・白色・ピンク色・黒色
ジニア (ザハライエロー・ホワイト)	黄色・白色
ペニセタム	黄色
プレクトランサス	緑色
ヘリオトロープ (黄緑・緑)	黄緑色・緑色
ランタナ	黄緑色
ブルーデージー	青色
アルテナンテラ	暗褐色
ジニアプロフェュージョン	ピンク
トレニア	緑